

情報処理 A

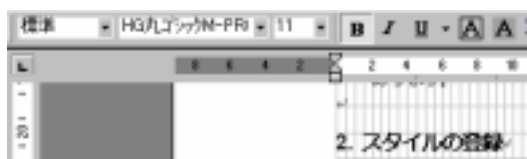
休講時に予定していた内容

STEP1. スタイル

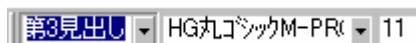
1. スタイルとは

- ▶ フォントの種類やサイズ, 太字・斜体・下線, インデントなど複数の書式をまとめて登録し, 名前を付けたものを「スタイル」といいます.
- ▶ 複数の書式が一度に設定できるので, タイトルや項目名などでよく使うパターンを登録しておくで便利です.
- ▶ スタイルには, 文字列に設定する「文字スタイル」と段落に設定する「段落スタイル」があります.

2. スタイルの登録

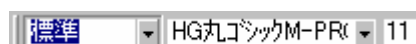


- 1) 登録するための段落に書式を設定します.
- 2) 書式が設定されている段落にカーソルを移動させます.
- 3) [スタイル]ボックスに好きなスタイル名を入力・確定します.
- 4) [Enter]キーを押します.(終了)



3. スタイルの適用

- 1) スタイルを適用したい段落にカーソルを移動させます.
- 2) [スタイル]横の を押して表示されるダウンドロップリストから適用したいスタイルを選択します.(終了)



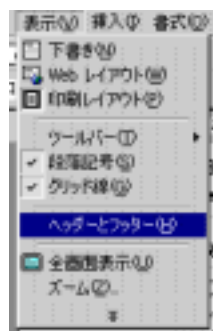
STEP2. ヘッダー・フッターの作成

1. ヘッダー・フッターとは

- ▶ 「ヘッダー」は文書の各ページの上部に, 「フッター」は下部に印刷するページ番号や日付, 文書タイトルなどの文字列やグラフィックのことです.
- ▶ いったんヘッダーやフッターを作成すると, 全てのページに同一の文字列やグラフィックが反映されます.

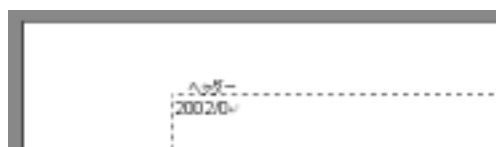
2. ヘッダー・フッターの作成

- 1) 作成コマンドの実行
メニューバーから[表示] [ヘッダーとフ



ッター]をクリックします.

- 2) ヘッダーの入力
ヘッダー部分にカーソルが点滅していますので, ヘッダーを入力する場合はそのまま入力を行います,



- 3) フッターの入力
フッターを入力する場合は「」キーでフッター部分にカーソルを移動させるか, あるいは[ヘッダーとフッター]ツールバーの[ヘッダー/フッターの切り替え]ボタン












をクリックしてカーソルを移動させて、フッターを入力します。



4) 入力終了

入力終了後は、ヘッダー・フッター領域以外をクリックするか、あるいは[ヘッダーとフッター]ツールバーの[終了]ボタンをクリックして入力モードを終了させます。

- ▶ いったん作成したヘッダー・フッターを編集する場合は、ヘッダー部分フッター部分でダブルクリックをすると編集モードとなります。

3. [ヘッダーとフッター]ツールバー

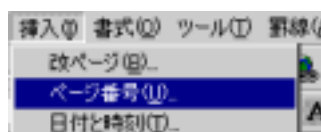
	(定型句の挿入)
ページ番号、ファイル名、作成日時、作成者などを一覧から選択して挿入します。	
	(ページ番号の挿入)
ページ番号を挿入します。	
	(ページ数の挿入)
総ページ数を挿入します。	
	(ページ番号の書式設定)
ページ番号の書式を設定します。	
	(日付の挿入)
印刷や印刷プレビューを行ったり、ファイルを開いたりした時などに自動的に更新される日付を挿入します。	
	(時刻の挿入)
印刷や印刷プレビューを行ったり、ファイルを開いたりした時などに自動的に更新される時刻を挿入します。	
	(ページ設定)
作業中の文書にたいして、余白、用紙トレイ、用紙サイズ、印刷の向きなどのページ・レイアウトを設定します。	
	(本文の表示 / 非表示)
ヘッダー・フッター領域での作業中に、本文を表示するかしないかを切り替えます。	
	(前と同じ)
前のセクションと異なるヘッダー・フッターを設定します。	
	(ヘッダー / フッターの切り替え)
ヘッダー・フッター領域の間のカーソルを移動し、表示を切り替えます。	
	(前を表示)
前のヘッダーまたはフッターにカーソルを移動し、表示を切り替えます。	

	(次を表示)
次のヘッダーまたはフッターにカーソルを移動し、表示を切り替えます。	
	(ヘッダーとフッターを閉じる)
ヘッダー・フッターの作成・編集を終了します。	

- ▶ ページ番号の挿入については以下の方法が一般的です。

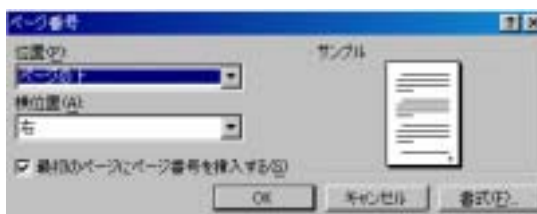
1) コマンドを実行

メニューバーから[挿入] [ページ番号]を選択します。すると、[ページ番号]ダイアログボックスが開きます。



2) ページ番号の設定 (位置)

ページ番号に関する設定を行います。



ページ番号の垂直方向の位置を[位置]で決定します。

ページ番号の水平方向の位置を[横位置]で決定します。

最初のページにもページ番号を挿入する場合は[最初のページにもページ番号を挿入する]チェックを入れ、最初のページが表紙ページなどで、ページ番号を入れる必要がない場合はチェックを外します。

3) ページ番号の設定 (書式)

[書式]ボタンをクリックすると[ページ番号の書式]ダイアログボックスが開きます。



4) [OK] ボタンを押す (終了)


STEP3. オートシェイプ

1. オートシェイプとは

- ▶ 「オートシェイプ」を使うと、いろいろな図形を簡単に作成することができます。
- ▶ 図形は「線」「基本図形」「ブロック矢印」「フローチャート」「星とリボン」「吹き出し」に分類されています。

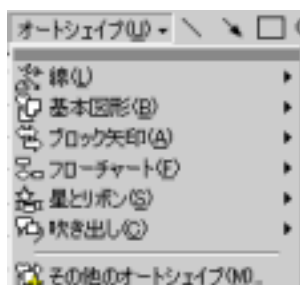
2. オートシェイプの作成

1) 図形描画ツールバーの表示

[図形描画] ボタンをクリックすると、
[図形描画] ツールバーが表示されます。

2) 作成する図形を決める

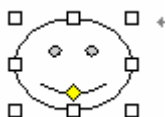
[オートシェイプ] ボタンをクリックすると、
メニューがポップアップしますのでつくりたい図形のボタンをクリックします。



(ここで直線、矢印、四角形、楕円の各ボタンをクリックすることでそれぞれの図形を作成できます。)

3) 図形の大きさを決める

マウスポインタが十字の形になりますので、
左上から右下にマウスをドラッグします。大きさが決まったら、マウスのボタンから手をはなします。図形が作成され、まわりにハンドルが表示されます。



(オートシェイプ)

あらかじめ Word で準備されている図形がおさめられています。図形は以下の 7 種類 132 図形。

線(L)

線を引きたい時にこのボタンをクリックします。以下の「直線」「矢印」「双方向矢印」「曲線」「フリーフォーム」「フリーハンド」の 6 種類の線から選択可能です。



基本図形(B)

基本的な図形を描きたい場合、このボタンをクリックします。「四角形」「平行四辺形」「台形」「ひし形」「角丸四角形」「八角形」「二等辺三角形」「直角三角形」「楕円」「六角形」「十字形」「五角形」「円柱」「直方体」「額縁」「メモ」「スマイル」「ドーナツ」「禁止」「アーチ」「ハート」「稲妻」「太陽」「月」「円弧」「大かっこ」「中かっこ」「ブローチ」「左大かっこ」「右大かっこ」「左中かっこ」「右中かっこ」の 32 種類から選択可能です。



ブロック矢印(A)

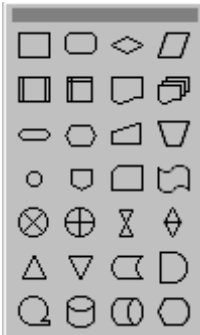
ブロック化された矢印を描きたい場合、このボタンをクリックします。「右矢印」「左矢印」「上矢印」「下矢印」「左右矢印」「上下矢印」「四方向矢印」「三方向矢印」「曲折矢印」「Uターン矢印」「二方向矢印」「屈折矢印」「左カーブ矢印」「右カーブ矢印」「上カーブ矢印」「下カーブ矢印」「ストライプ矢印」「V字形矢印」「ホームベース矢印」「山形矢印」「右矢印吹き出し」「左矢印吹き出し」「上矢印吹き出し」「下矢印吹き出し」「左右矢印吹き出し」「上下矢印吹き出し」「四方向矢印吹き出し」「環状矢印」の 28 種類から選択可能です。



フローチャート(F)

フローチャートを描きたい場合、このボタンをクリックします。「フローチャート：処理」「フローチャート：代替処理」「フローチャート：判断」「フローチャート：デ

ータ」「フローチャート：定義済み処理」「フローチャート：内部記憶」「フローチャート：書類」「フローチャート：複数書類」「フローチャート：端子」「フローチャート：準備」「フローチャート：手操作入力」「フローチャート：手作業」「フローチャート：結合子」「フローチャート：他ページ結合子」「フローチャート：カードせん孔」「フローチャート：テープ」「フローチャート：和接合」「フローチャート：論理和」「フローチャート：照合」「フローチャート：分類」「フローチャート：抜き出し」「フローチャート：組合せ」「フローチャート：記憶データ」「フローチャート：論理積ゲート」「フローチャート：順次アクセス記憶」「フローチャート：磁気ディスク」「フローチャート：直接アクセス記憶」「フローチャート：表示」の28種類から選択可能です。



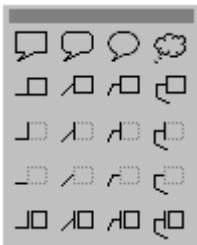
☆ 星とリボン (星とリボン) [16]

星やリボンの形をした図を描きたい場合、このボタンをクリックします。「爆発1」「爆発2」「星4」「星5」「星8」「星16」「星24」「星32」「上リボン」「下リボン」「上カーブリボン」「下カーブリボン」「縦巻き」「横巻き」「大波」「小波」の16種類から選択可能です。



吹き出し (吹き出し)

指示線とテキスト書き込みスペースからなる吹き出しを作成したい場合、このボタンをクリックします。「四角形吹き出し」「角丸四角形吹き出し」「円形吹き出し」「雲形吹き出し」「線吹き出し1(枠付き)」「線吹き出し2(枠付き)」「線吹き出し3(枠付き)」「線吹き出し4(枠付き)」「強調線吹き出し1」「強調線吹き出し2」「強調線吹き出し3」「強調線吹き出し4」「線吹き出し1」「線吹き出し2」「線吹き出し3」「線吹き出し4」「強調線吹き出し1(枠付き)」「強調線吹き出し2(枠付き)」「強調線吹き出し3(枠付き)」「強調線吹き出し4(枠付き)」の20種類から選択可能です。



その他のオートシェイプ (M)...

クリップアートを挿入ができます。

(直線)

直線を引きたい時にこのボタンをクリックします。同様のコマンドボタンが[オートシェイプ][線]に格納されています。

(矢印)

矢印を引きたい時にこのボタンをクリックします。同様のコマンドボタンが[オートシェイプ][線]に格納されています。

(四角形)

四角形を書きたい時にこのボタンをクリックします。同様のコマンドボタンが[オートシェイプ][基本図形]に格納されています。

(楕円)

楕円を書きたい時にこのボタンをクリックします。同様のコマンドボタンが[オートシェイプ][楕円]に格納されています。

3. オートシェイプの編集

(塗りつぶしの色)

図形の領域(内部)の色を変更します。ボタン横のボタンをクリックするとカラーパレットが開きますので、変更したい色を選択してください。



(線の色)

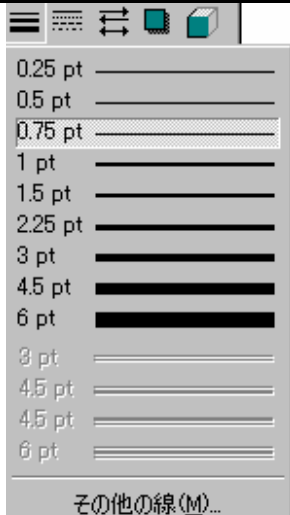
図形の輪郭の色を変更します。ボタン横のボタンをクリックするとカラーパレットが開きますので、変更したい色を選択してください。



フォントの色を変更します。ボタン横のボタンをクリックするとカラーパレットが開きますので、変更したい色を選択してください。

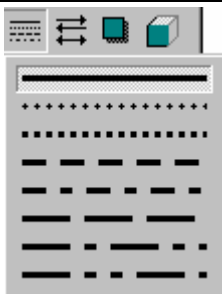


図形の輪郭線の太さを変更します。[0.25pt] [0.5pt] [0.75pt] [1pt] [1.5pt] [2.25pt] [3pt] [4.5pt] [6pt] [3pt] (二重線) [4.5pt] (二重線) [4.5pt] (二重線) [6pt] (三重線) から選択できます。

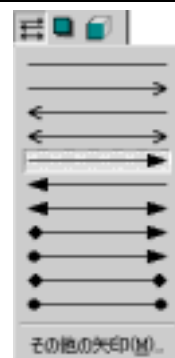


(実線 / 点線のスタイル)

図形の輪郭線のスタイルを変更します。[実線] [点線 (丸)] [点線 (四角)] [破線] [一点破線] [長破線] [長鎖線] [長二点鎖線] から選択できます。



あらかじめ準備されている 11 のスタイルから選択できます。



[その他の矢印] をクリックすると [オートシェイプの書式設定] ダイアログボックスが開きます。[矢印] の項目で詳細な設定ができます。



(影付きスタイル)

図形に影を付けます。あらかじめ 20 種類の影が準備されています。影を消したい場合は [影なし] をクリックしてください。



[影の設定] ボタンをクリックすると [影の設定] ツールバーが開きます。影を付けるか付けないかを設定できる [影のオンオフ] ボタン、影の位置を上下左右に微妙に変更できる [影の微調整 (上)] [影の微調整 (下)] [影の微調整 (左)] [影の微調整 (右)] の各ボタン、影の色をカラーパレットから選択できる [影の色] ボタンからなります。



(3-D スタイル)

図形を 3-D にします。あらかじめ 20 種類の影が準備されています。3-D を消したい場合は [3-D なし] をクリックしてください。

[3-D の設定] ボタンをクリックすると [3-D の設定] ツールバーが開きます。3-D を付けるか付けないかを設定できる [3-D のオンオフ] ボタン、3-D の向きを上下左右に微妙に変更できる [下に傾ける] [上に傾ける] [左に傾ける] [右に傾ける] の各ボタンがあります。

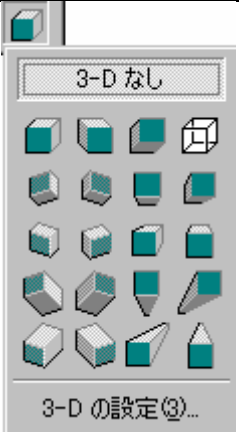
[奥行き] ボタンでは、3-D の奥行きを [0pt] [36pt] [72pt] [144pt] [288pt] [無限] から選択でき、[指定] のフィールドに奥行きの深さを指定することで好きな奥行きを設定できます。

[視点] ボタンでは、3-D の見る視点を 9 つの方向から選択できます。その他に [遠近] と [平行] ボタンがあります。

[光源] ボタンでは、3-D の光源を 8 つの方向から選択できます。また光源の明るさを [明るく] [標準] [暗く] の 3 つから選択できます。

[表面] ボタンでは、3-D の表面を [ワイヤフレーム] [つや消し] [プラスチック] [金属] から選択できます。

[3-D の色] ボタン横の をクリックして開くカラーパレットから好きな色を選択することで、3-D の色を変更することができます。



4. [図形描画] ツールバー (その他ボタン)

(図形の調整)

すでに作成した図形を編集する場合に、このボタンをクリックします。通常の編集は図形を右クリックして表示される [オートシェイプの書式設定] ダイアログボックスで編集が可能ですが、ボックスではできない調整がこのボタンをクリックして表示されるメニューから可能となります。

グループ化 (G) (グループ化)

複数の図形を一つの図形としてくっつける時に使うコマンドです。

グループ解除 (U) (グループ解除)

グループ化した図形をもとの複数の図形に分離する時







に利用するコマンドです。

再グループ化 (O) (最グループ化)

いったん解除したグループを、再びグループ化 (一体化) させる場合に利用するコマンドです。

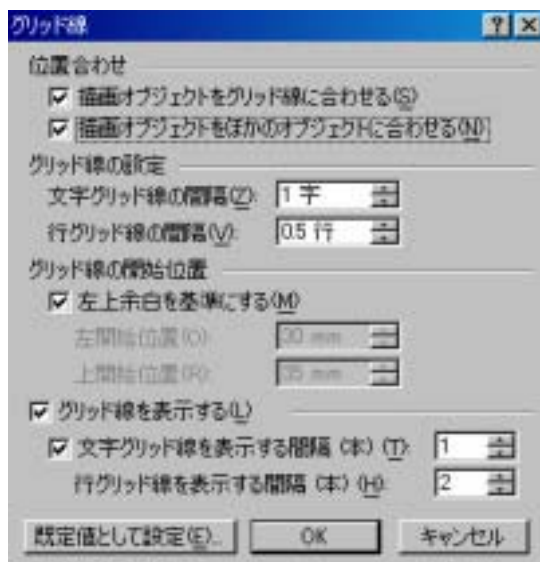
順序 (R) (順序)

図形と図形あるいは図形とテキストが重なり合う場合、どのように重なるかを決定するのがこのボタンです。重なり方は「最前面へ移動」「最背面へ移動」「前面へ移動」「背面へ移動」「テキストの前面へ移動」「テキストの背面へ移動」から選択できます。

-  最前面へ移動 (F)
-  最背面へ移動 (K)
-  前面へ移動 (E)
-  背面へ移動 (B)
-  テキストの前面へ移動 (R)
-  テキストの背面へ移動 (H)

グリッド (G) (グリッド)

図形を文書上に配置する時に便利な目盛 (グリッド線) の表示・非常時の切り替えとその設定を行うためのボタンです。このボタンをクリックすると [グリッド線] ダイアログボックスが開きます。



位置合わせ

- ☒ 描画オブジェクトをグリッド線に合わせる (S)
- ☒ 描画オブジェクトをほかのオブジェクトに合わせる (M)

グリッド線の設定

文字グリッド線の間隔 (C): 1 字

行グリッド線の間隔 (V): 0.5 行

グリッド線の開始位置

- ☒ 左上余白を基準にする (M)

左間隔位置 (L): 30 mm

上間隔位置 (U): 30 mm

☒ グリッド線を表示する (L)

☒ 文字グリッド線を表示する間隔 (本) (T): 1

行グリッド線を表示する間隔 (本) (H): 2

既定値として設定 (E) OK キャンセル

[位置合わせ] では描画オブジェクト (図形) を何に「合わせるか」を設定できます。設定には [描画オブジェクトをグリッド線に合わせる] と [描画オブジェクトをほかのオブジェクトに合わせる] の 2 つあります。

[グリッド線の設定] ではグリッド線の間隔を設定します。[文字グリッド線の間隔] は縦線の間隔のことで、

0.5 字単位で設定できます。[行グリッド線の間隔] は横線の間隔のことで、0.5 行単位で設定できます。

[グリッド線の開始位置] では、グリッド線の開始位置を設定します。余白を基準にする場合は [左余白を基準にする] にチェックマークを入れ、任意の位置を基準にする場合は [左開始位置] と [上開始位置] を mm 単位で設定できます。

[グリッド線を表示する] のチェックボックスで表示・非表示を切り替えることができます。またグリッド線を何本単位で表示するかを文字グリッド・行グリッドそれぞれについて設定できます。

[既定値として設定する] ボタンをクリックすると、現在の設定を標準の設定することが出来ます。

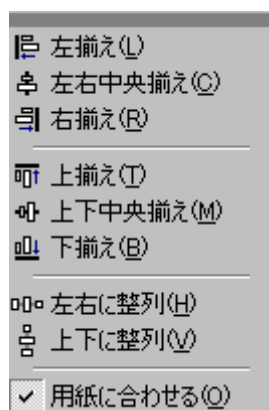
微調整(N) (微調整)

図形の配置を微調整したい場合に、このボタンをクリックします。微調整の方向は「上」「下」「左」「右」から選択可能です。



配置/整列(A) (配置 / 整列)

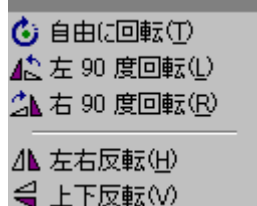
複数の図形の配置の変更・整列を行います。配置・整列の方法は [左揃え] [左右中央揃え] [右揃え] [上揃え] [上下中央揃え] [下揃え] [左右に整列] [上下に整列] の 8 つから選択できます。通常、配置・整列は図形を基準に行われますが、用紙を基準に配置・整列を行う場合は [用紙に合わせる] にチェックマークを入れてください。



回転/反転(P) (回転 / 反転)

図形を回転させたい場合、このボタンをクリックしま

す。回転方法は「自由に回転」「左 90 度回転」「右 90 度回転」「左右反転」「上下反転」から選択可能です。



テキストの折り返し(T) (テキストの折り返し)

文章 (テキスト) と図形 (オートシェイプ) が混ざった文章の場合、「テキストとオートシェイプの配置をどのようにするか?」について決めなければなりません。「文章の上に図形がのっかる」「図形と文章が重ならないようにする」などを選択するのが [テキストの折り返し] です。



「行内」「四角」「外周」「背面」「前面」「上下」「内部」から選択できます。また図形を囲む輪郭を変更したい場合「折り返し点の編集」を指定します。

頂点の編集(E) (頂点の編集)

フリーハンドで線を描いた場合、線を曲げる点 (頂点) が発生します。すでに作成したフリーハンド曲線の頂点を変更する場合、このボタンを利用します。

オートシェイプの変更(Q) (オートシェイプの変更)

すでにあるオートシェイプを別の形に変更する場合に利用します。変更方法は「変更する前のオートシェイプを選択」 [図形の調整] [オートシェイプの変更] で表示されるオートシェイプから変更後のボタンをクリックしてください。

オートシェイプの既定値に設定(D) (オートシェイプの既定値に設定)

ある特定のオートシェイプに設定された書式 (輪郭線の種類、領域の塗りつぶし、テキストの色などの書式) を「標準の書式」にする場合、このボタンをクリックしま

す。既定値に設定後、新たにオートシェイプを作成する場合には既定値の設定が反映されます。

(オブジェクトの選択)

オートシェイプやテキストボックス(後述)などのオブジェクトを選択する場合、このボタンをクリックします。クリック後表示される白抜き矢印でオブジェクトをクリックすることで、選択することができます。

(自由に回転)

図形を自由に回転させたい場合、このボタンをクリックします。

(テキストボックス)

文字列または図を格納する、移動とサイズ変更が可能な範囲のことをテキストボックスと言います。テキストボックスはページ上に複数のテキストブロックを配置したり、記述方向の異なるテキストを文書内に配置したりするために使用します。横書きのテキストボックスを作成した場合、このボタンをクリックします。

(縦書きテキストボックス)

文字列または図を格納する、移動とサイズ変更が可能な範囲のことをテキストボックスと言います。テキストボックスはページ上に複数のテキストブロックを配置したり、記述方向の異なるテキストを文書内に配置するために使用します。縦書きのテキストボックスを作成した場合、このボタンをクリックします。

(ワードアートの挿入)

あらかじめ用意されたスタイルを選択することで普通の文字を特殊文字に変更させることができます。ワードアートについて詳しくは後述。

(クリップアートの挿入)

あらかじめ用意されているいろいろな図を挿入する場合にこのボタンをクリックします。クリップアートについて詳しくは後述。

STEP4. ワードアート

1. ワードアートとは

- 「ワードアート」を使うと、あらかじめ用意

されているスタイルを選択するだけで簡単に特殊な効果文字を作成することができます。

- 30種類のスタイルから選ぶことができ、[ワードアート] ツールバーを使って編集することも可能です。

2. ワードアートの作成

- 1) ワードアートの挿入箇所を決定する
ワードアートの挿入したい箇所にカーソルを移動させます。
- 2) ワードアートのコマンドを実行する
[図形描画] ツールバーにある[ワードアートの挿入] ボタンをクリックします。すると、[ワードアートギャラリー] ダイアログボックスが開きます。



- 3) スタイルの選択
[ワードアートのスタイルの選択]として30種類のスタイルが一覧になっていますので、作成したいスタイルを選択し、[OK] ボタンをクリックします。すると、[ワードアートテキストの編集] ダイアログボックスが表示されます。



- 4) テキストの入力
[フォント] でアートの元となるフォントの種類とサイズ、太字・斜体を選択した上で、[テキスト] のフィールドにアートにしたい文字を入力し、最後に[OK] ボタンをクリックします。



- 5) 入力した文字が選択されたスタイルで表示されていることを確認してください。[ワードアート] ツールバーが表示され、作成されたワードアートの周りにはハンドルが表示されています。(終了)



3. ワードアートの編集

- ▶ いったん作成したワードアートの編集は [ワードアート] ツールバーで行います。



(ワードアートの挿入)

新規にワードアートを作成する場合、このボタンをクリックします。

(テキストの編集)

アートするテキストを編集する場合このボタンをクリックします。すると [ワードアートテキストの編集] ダイアログボックスが開きます。



(ワードアートギャラリー)

テキストをアートする方法を変更する場合、この

ボタンをクリックします。すると [ワードアートギャラリー] ダイアログボックスが開き [ワードアートのスタイルの変更] でスタイルを変更することが出来ます。



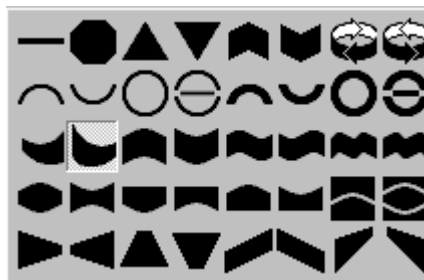
(ワードアートの書式設定)

ワードアートの [塗りつぶし] の色, [サイズ], [レイアウト] などを変更する場合、このボタンをクリックします。すると [ワードアートの書式設定] ダイアログボックスが開きます。



(ワードアート形状)

ワードアートの形状を変更する場合にこのボタンをクリックします。以下の 40 種類から形状を選択できます。





(自由に回転)

ワードアートを回転させたい時に、このボタンをクリックします。すると、カーソルが丸矢印になり、ワードアートを囲むハンドルが緑色の になりますので、丸矢印のカーソルを緑色の 上にもっていき、回転させたい方向にドラッグするとワードアートを回転させることができます。



(テキストの折り返し)

ワードアートとテキストの関係を変更する場合に、このボタンをクリックします。



(ワードアート：文字の高さを揃える)

ワードの文字の高さを揃えたい場合、このボタンを利用します。



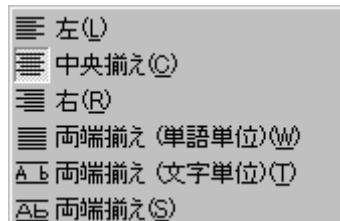
(ワードアート：縦書きテキスト)

ワードアートの縦書きと横書きを変更するためのボタンです。



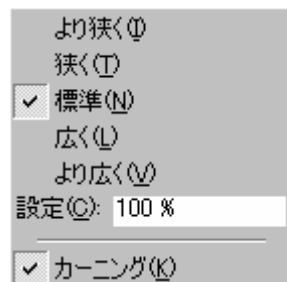
(ワードアート：配置)

ワードアートの配置を変更するためのボタンです。以下の6通りの選択肢があります。



(ワードアート：文字の間隔)

ワードアートの文字間隔を変更する時に利用します。[より狭く][狭く][標準][広く][より広く]の5つの選択肢から選択が出来ます。[設定]の欄に任意の文字間隔を書き込むことも可能です。



STEP5. クリップアート

1. クリップアートとは

「クリップアート」とは、あらかじめ用意されているいろいろな図のサンプルのことです。

2. クリップアートの作成

- 1) クリップアートの挿入箇所を決定する
ワードアートの挿入したい箇所にカーソルを移動させます。
- 2) クリップアートのコマンドを実行する
[図形描画] ツールバーにある[クリップアートの挿入]ボタンをクリックします。すると[クリップアートの挿入]ダイアログボックスが開きます。



クリップアートを選択する。

挿入したいクリップアートを選択すると、以下のようなポップアップメニューがでます。各ボタンの意味は以下の通りです。



(クリップの挿入)

クリップアートを文書に挿入します。



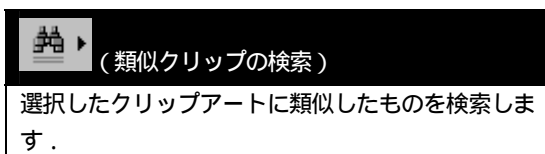
(クリップのプレビュー)

クリップアートのプレビューを表示したり、サウンドやビデオクリップを再生したりします。



(クリップをお気に入りまたは他の分類に追加)

クリップアートを任意の分類に追加します。



3. クリップアートの編集

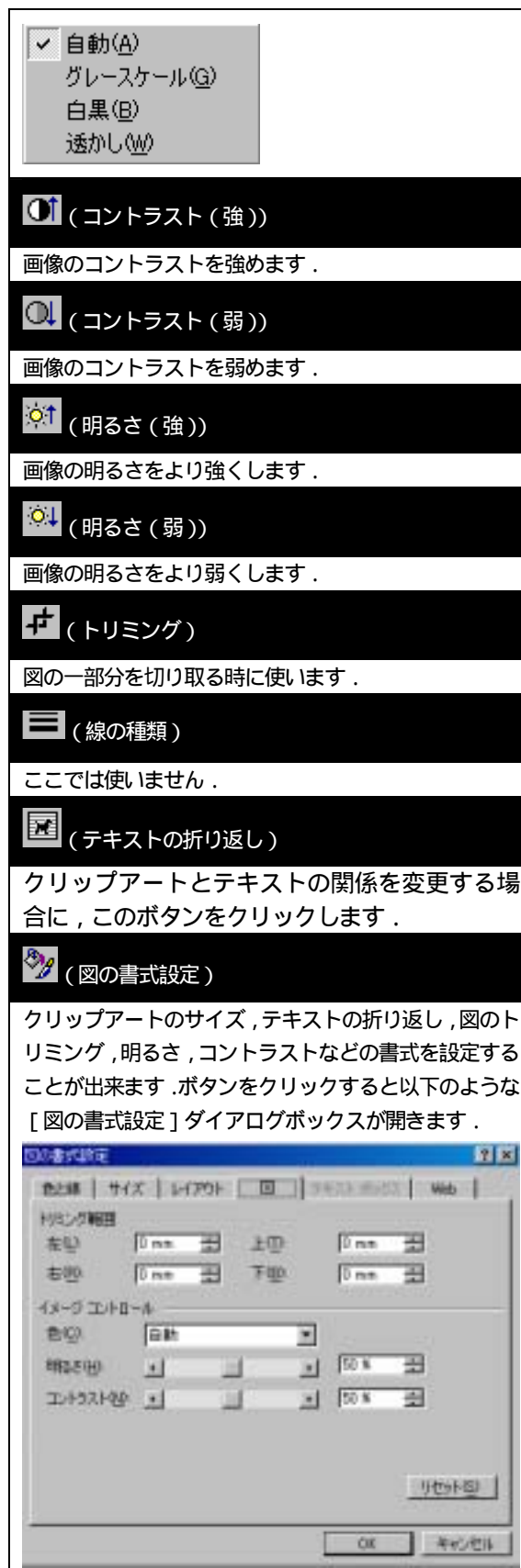
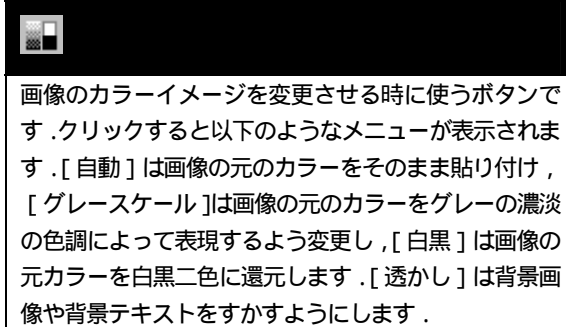
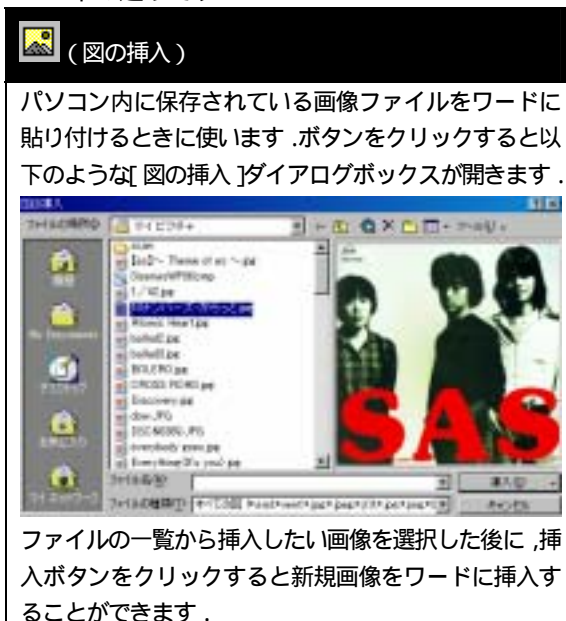
1) 図ツールバーの表示

クリップアートを右クリックして表示されるメニューの中から [[図] ツールバーの表示] メニューを選択してください。すると、以下のような [図] ツールバー が表示されます。





2) 編集コマンドの実行

[図ツールバー] を用いて編集を行ってください。[図ツールバー] の各ボタンの意味は以下の通りです。



2002/07/09

	(透明な色に設定)
透明色に設定できます。	
	(図のリセット)
編集作業を元に戻します。	